

東北海区沿岸水温予報(2011年)

海域	経過 (11~1月)	現況(1月下旬~2月上旬)	見通し (2~4月)	見通しの背景	特異現象 (漁海況)
三陸北部 (青森県太平洋沿岸; 青森水総研発表)	沿岸定地水温 平年並みに推移した。	沿岸定地水温 平年並みに推移している	平年並みからやや低めに 推移するものと思われる	FRA-JCOPE予測モデルによる	特になし
三陸中部 (岩手県沿岸; 岩手水セ発表)	11月 表面: 距岸10海里内は県北部でやや高いほかは平年並み。県北部距岸10~50海里でやや高い、県中部距岸20海里、県中南部20~40海里、県南部距岸50海里でやや低いほかは平年並み。 100m深: 距岸10海里内は県中部で低いほかは平年並み。県中部距岸10~20海里、県中南部20~50海里、県南部50海里でやや低い~低い。県北部距岸10~50海里、県中部距岸40~50海里、県南部30~40海里でやや高い~極めて高いほかは平年並み。 12月 表面: 距岸10海里内は県中南部~県南部でやや高いほかは平年並み。 県北部距岸50海里、県中部40~50海里、県中南部10~50海里、県南部10および30~50海里でやや高いほかは平年並み。 100m深: 県南部でやや高いほかは平年並み。県北部20~40海里、県南部30海里でやや低い~低い、県中部40~50海里、県中南部30~50海里、県南部20海里でやや高い~高いほかは平年並み。	2月 表面: 距岸10海里内は平年並み。県北部距岸30、50海里でやや低いほかは、ほぼ全域でやや高い。 100m深: 県北部距岸30、50海里でやや低い。県北部距岸20海里、県中部40~50海里から県南部30~50海里にかけてやや高い~高いほかは平年並み。	3月 100m深: 県北部の沖合でやや低めのほかは平年並みだが、黒潮続流の蛇行の度合いによっては県南部海域がやや高め~高めに推移する可能性がある。	3月 統計的予測モデルおよびFRA-JCOPEによる。	特になし
三陸南部 (宮城県沿岸; 宮城水セ発表)	(11月中旬) 『本県沿岸から沖合海域は、表面、100m深とも16~18°C台の水温となっており、平年よりも高め。』 【表面水温】 本県沿岸から沖合海域の表面水温は、概ね17~18°C台で、平年比で2~4°C高めであった。一部亘理沖(38°N)の142°E付近では暖水波及がみられた。 【100m深水温】 亘理沖(38°N)の141°50'E付近を除き、16~17°C台で、平年比で概ね2~5°C高めであった。  (1月中旬) 『表面水温は沖合域で低め、100m深水温は全域で低め。』 【表面水温】 宮城県沿岸から沖合の表面水温は、9~10°C台であった。平年との比較では、142°E以西では平年並みから1°C高め、142°E以东では1~2°C低めであった。 【100m深水温】 100m深水温については、7~11°C台であった。平年との比較では、観測域の全域で低めとなっており、特に雄勝沖合(38°30'E)の142°50'E付近で4°C低くなっている海域があった。	(2月上旬) 『宮城県沖合域で表面水温が高めとなっている。』 【表面水温】 宮城県沿岸から沖合の表面水温は、7~10°C台となっている。平年との比較では、沖合域で1~2°C高めとなっている。 【100m深水温】 100m深水温については、6~9°C台となっている。平年との比較では、亘理沖合(38°N)の142°10'E付近で約2°C低くなっているが、全般的に平年よりも高めとなっている。	3月は142°以西の沿岸域では平年並みで推移する。142°以东では、気仙沼沖合海域(38°50'ライン)では平年並みで推移し、雄勝沖合海域(38°30'ライン)からは亘理沖合海域(38°ライン)ではやや低めから極めて低めで推移する。 4月は142°以西の沿岸域では平年並みで推移する。142°以东では、気仙沼沖合海域(38°50'ライン)では平年並みで推移し、雄勝沖合海域(38°30'ライン)では極めて低めで推移する。亘理沖合海域(38°ライン)では、142°~142°30'Eの海域では極めて低めで推移するが、142°30'Eの沖合では平年並で推移する。	「沿岸定線データを用いた宮城県沿岸海域の海況予測モデル」によって海況予測を実施した。 (類似年は、1993年2月であった。)	特になし
常磐北部 (福島県沿岸; 福島水試発表)	11月: 黒潮系暖水が県中、県南海域の30海里付近に波及した。50海里以内における100m深の水温は「平年よりやや高め」。 12月: 本県海域の40海里付近に暖水帯が分布した。50海里以内における100m深の水温は「平年より高め」。 1月: 親潮系冷水が県北部の沖合から波及し、水温は大きく降温した。50海里以内における100m深の水温は「平年並み(低め基調)」。	2月上旬 県北部海域から冷水が弱く波及し、本県海域は9°C~10°C台が分布している。黒潮系暖水の波及は極めて弱い。	沿岸水温は「平年並み」~「平年より低め」で推移する。	・現状の冷水波及は当面続くと考えられる(茨城水試観測結果)。 ・FRA-JCOPEの予測では3月中旬以降、親潮系冷水の南下が強まると予測されている。	特になし。

<p>常磐南部～鹿島灘 (茨城県沿岸; 茨城水試発表)</p>	<p>11月:黒潮が本県海域を北上した影響で、前月に比べて沿岸域の海面付近以外の広い海域で著しく昇温した。 (11月上旬) 表面水温:18～24℃台 「平年並み」～「極めて高い」 100m深水温:14～20℃台 「やや低い」～「極めて高い」</p> <p>12月:北部海域は前月と比べると表層付近で降温し、下層で昇温した。また、平年と比べると前月に波及した黒潮系暖水の影響が残ったため、広い海域で高めとなった。黒潮は本県海域を北上した。 (12月上旬) 表面水温:16～23℃台 「やや高い」～「極めて高い」 100m深水温:15～20℃台 「平年並み」～「高い」 (常磐南部海域のみの結果)</p> <p>1月上旬:前月と比べると表層付近を中心に著しく降温した。一方で、平年と比べると、大洗の沿岸域を中心に前月の黒潮系暖水が残っていたことから、高めがみられた。黒潮は本県海域を北上した。 (1月上旬) 表面水温:11～18℃台 「低い」～「高い」 100m深水温:10～18℃台 「低い」～「高い」</p>	<p>1月下旬は、北方から冷水が強く流入したため、海面水温が全域で9～10℃になり、前月に比べて大きく降温した。黒潮は中旬から下旬にかけて徐々に南下し、1月末頃には大吠埼以南に南偏した。 2月上旬は、前月上旬と比べると表層付近を中心に著しく降温した。また、平年と比べると全域で低めとなった。黒潮は蛇行部が房総半島沖を東に移動したため流路変動した。 (2月上旬) 表面水温:7～11℃台 「極めて低い」～「やや低い」 100m深水温:7～10℃台 「極めて低い」～「やや低い」</p>	<p>概ね「低め」で推移する。ただし、3月以降に黒潮系暖水が一時的に波及する。</p>	<p>・海洋観測結果により求めた2月の海況パターンは冷たい海況を示す「冷水パターン」となった。2月に「冷水パターン」の年の冬春季は、過去の例では「冷水パターン」で推移することが多い。 ・FRA-JCOPEの予測結果(2/12基準)では、親潮系冷水の南下が強く推移する。 ・11月下旬頃に九州東岸で黒潮の離岸がみられた。この海域での離岸は、蛇行となって東進し、房総半島沖まで伝搬することがある。また、その際の流路変動により、本県沿岸域に黒潮系暖水が波及することがある。昨年から今年にかけては、九州東岸の離岸から、房総半島沖に蛇行が達するまでに3カ月半から4カ月半程度かかっていることから、このことを当てはめると、概ね3月～4月頃に房総半島沖に蛇行が東進する可能性がある。</p>	<p>特になし</p>
---	--	---	---	--	-------------

各階級の水温平年偏差の範囲

階級区分(出現率)	三陸北部	三陸中部		三陸南部	常磐北部	常磐南部～鹿島灘
		距岸10海里内	距岸10～70海里			
極めて高い(2.5%)	+2.4℃～	+4.0℃～	+6.0℃～	+2.4℃～	+4.0℃～	+4.0℃～
高い(7.5%)	+1.6～+2.3℃	+2.5～+3.9℃	4.0～+5.9℃	+1.6～+2.3℃	+2.5～+3.9℃	+2.5～+3.9℃
やや高い(20%)	+0.7～+1.5℃	+1.0～+2.4℃	1.5～+3.9℃	+0.7～+1.5℃	+1.0～+2.4℃	+1.0～+2.4℃
平年並み(40%)	+0.6～-0.6℃	+0.9～-0.9℃	1.4～-1.4℃	+0.6～-0.6℃	+0.9～-0.9℃	+0.9～-0.9℃
やや低い(20%)	-0.7～-1.5℃	-1.0～-2.4℃	1.5～-3.9℃	-0.7～-1.5℃	-1.0～-2.4℃	-1.0～-2.4℃
低い(7.5%)	-1.6～-2.3℃	-2.5～-3.9℃	4.0～-5.9℃	-1.6～-2.3℃	-2.5～-3.9℃	-2.5～-3.9℃
極めて低い(2.5%)	-2.4℃～	-4.0℃～	-6.0℃～	-2.4℃～	-4.0℃～	-4.0℃～